

のだ 市議会だより

第149号

令和3年2月15日発行

12月定例会

編集・発行／野田市議会広報委員会

〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1 TEL 04-7125-1111



令和3年 野田市成人式実行委員の皆さん（1月11日オンライン配信により開催）

議会活動	数字で見るこの1年	2
常任委員会	コミュニティバス等対策審議会条例の制定などを審査	4
一般質問	16人の議員が一般質問に登壇	6
審議結果	市長提出議案14件は原案どおり可決	12

議会活動

数字で見るこの1年

令和3年になって初めての発行となる市議会だよりでは、議会活動『数字で見るこの1年』と題し、昨年1月から12月までの議会活動について、1年間のデータをもとに紹介します。

一般質問通告項目

(質問項目の多かった上位5分野を掲載)

順位	分野	項目数
1	行 財 政 運 営	37 (40)
2	保健福祉行政	36 (48)
3	防 災 行 政	24 (31)
4	教 育 行 政	22 (20)
5	土 木 行 政	17 (26)

※カッコ内は前年の件数

野田市議会の会議には、定例会と臨時会において開く本会議があります。さらに、議案等を専門的に審査するため分野別に設けた総務、環境経済、文教福祉、建設の常任委員会、委員会への議案の割り振りや会期日程など、会議の運営を協議するための議会運営委員会や市議会だよりの編集を行う広報委員会などの会議があります。なお、当初予算と決算は特別委員会を設置し審査しています。

また、年4回の定例会では、市長などに対し、市政全般にわたる施策の考え方や事業の進め方などを問う

年間97回の 会議を開催

案件及び議決の状況

案件別 議決結果	市長提出案件						議員提出案件			請願	陳情	合計
	条 例	予 算	決 算	契 約	専 決 処 分	そ の 他	条 例	意 見 書	そ の 他			
可 決	33	31		2		12	1	6				85
修 正 可 決												
同 意						16						16
認 定			8									8
承 認					4							4
推 薦						3						3
否 決								4				4
採 択										3		3
不 採 択										1	4	5
撤 回												
閉 会 中 査 継 続 審 査												
計	33	31	8	2	4	31	1	10		4	4	128
合 計	109						11			8		128

一般質問を行っています。令和2年は、コロナ禍での議会運営が余儀なくされた年でありました。特に、緊急事態宣言が発出された中で開催した4月と5月の臨時会では、議案の委員会審査を省略し、会議時間の短縮を図りました。

さらに、9月と12月の定例会では、開議後の出席議員数の調整や、委員会審査における討論の省略、一般質問の発言時間を10分短縮し30分以内とするなど議会

の役割は維持しつつ、感染対策を強く意識した会議運営となりました。

このような中ではありましたが、常任委員会の活性化を図るため、3頁の表のとおり委員会ごとに研究テーマを決め、10月から議論をスタートさせました。

この結果、令和2年は、本会議は4回の定例会と3回の臨時会を合わせて27回、常任委員会35回、特別委員会8回、広報委員会5回、議会運営委員会など22回の

合計97回の会議を開催しました。

審議案件は年間128件

市議会が審議する案件は、市長や議員が提出する議案と市民から提出される請願や陳情があります。

令和2年は、市長提出議案は昨年比5件減の109件、議員提出議案は4件増の11件、請願・陳情は1件増の8件となりました。合計では、昨年と同数の128件を審議しました。

一般質問に 延べ57人が登壇

令和2年の一般質問は、昨年に比べ5人減の延べ57人の議員が登壇し、168項目にわたる幅広い分野で活発な質問が行われました。質問項目を分野別に分類した上位5分野は、2頁の表のとおりです。行財政運営や市民生活に直結する分野が上位を占めています。

令和2年における特徴として、コロナ禍における避難所運営、医療従事者や事業主等への支援など新型コロナウイルス関連の質問が22件ありました。

144人が議会を傍聴

令和2年の傍聴は本会議に延べ126人、常任委員会等に延べ18人、合計で延べ144人が傍聴されました。

なお、9月と12月定例会は、新型コロナウイルス感染症防止のため、本会議の傍聴席を3分の1に制限されていた、いただきました。

議会中継・ホームページ のアクセス件数

令和2年の本会議インターネット中継は、延べ8千815件、市議会ホームページには延べ2万8千477件のアクセスがありました。

コロナ禍に配慮し議員の 期末手当等を削減

5月臨時会では、市議会と市長が協議し、医療従事者に対する緊急的な支援を行うための財源の一部とするため議員と市長等の常勤特別職の6月分期末手当の30%削減を実施しました。

また、常任委員会の行政視察を中止し、9月定例会において旅費全額を減額する補正予算を可決しました。

さらに、12月定例会では、市議会と市長が協議し、一般職の職員の期末手当の支給割合の引下げやコロナ禍の影響による今後の財政見

新会派の結成と 議会運営委員の変更

新たな会派「六論会」が結成されたことに伴い、議会運営委員が木名瀬宣人議員から染谷信一議員に変更となりました。なお、議会運営委員と所属会派一覧は左の表のとおりです。

通しを考慮し、議員と市長等の常勤特別職の期末手当の支給割合を令和2年12月は0・1カ月、3年6月と12月は合わせて0・1カ月引き下げるとともに、3年1月から4年3月まで報酬月額2%減額などを実施することに決定しました。

各常任委員会の研究テーマ

委員会	研究テーマ
総務委員会	交通不便地域対策（まめバス、デマンドタクシー等）について
環境経済委員会	ハザードマップ改定に伴う今後の避難所運営の在り方について
文教福祉委員会	食育、学校給食の在り方について
建設委員会	連続立体交差事業及び高架下の有効活用について

議会運営委員会

委員名				
☐ 委員長	古橋 敏夫			
☐ 副委員長	山口 克己			
	木村 欽一	星野 幸治		
	染谷 信一	内田 陽一		
	石原 義雄			

所属会派一覧

政 清 会 6人				
☐ 会長	深津 憲一			
☐ 幹事長	山口 克己			
☐ 会計	中村 裕介	木村 欽一		
	木名瀬宣人	平井 正一		
六 論 会 6人				
☐ 会長	竹内 美穂			
☐ 幹事長	古橋 敏夫			
☐ 会計	邑樂 等	濱田 勇次		
	川崎 貴志			
	染谷 信一			
公 明 党 5人				
☐ 代表	内田 陽一			
☐ 幹事長	椿 博文			
☐ 会計	中村あや子	吉岡 美雪		
	西村 福也			
民 主 連 合 4人				
☐ 代表	石原 義雄			
☐ 幹事長	小倉 良夫			
☐ 会計	小椋 直樹			
	滝本 恵一			
日本共産党野田市議団 3人				
☐ 団 長	星野 幸治			
☐ 会 計	長 勝則			
	織田 真理			
市民ネットワーク 1人				
	小室美枝子			
新 し い 風 1人				
	栗原 基起			
無 所 属 の 会 1人				
	谷口 早苗			
地 域 ク ラ ブ 1人				
	池田 利秋			

常任委員会

コミュニティバス等対策審議会条例の制定ほか

総務



まめバス

議案第1号
コミュニティバス等
対策審議会条例の制定

(提案理由) コミュニティバスの運行に関する事項及び交通不便地域の対策に関する事項について審議等を行うコミュニティバス等対策審議会を新たに設置し、地方自治法上の附属機関として位置付けようとするもの。

■委員 委員の選出方法は、

□当局 審議会の趣旨を御理解いただいた上で、学識経験者については東京理科大学から、そのほかの委員は各団体から代表する方をそれぞれ推薦いただく。

なお、公募委員は2名を予定している。

◆全会 一致で可決

議案第5号
令和2年度一般会計
補正予算(第7号)

(提案理由) 歳入歳出予算継続費、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正であり、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ14億5千212万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ725億8千186万7千円にしようとするもの。

■委員 生活保護費の増額は新型コロナウイルスの影響によるものか。

□当局 11月末現在の受給世帯数は1千340で、昨年に比べ40世帯多い状態で推移している。そのうち新型コロナウイルスの影響なのか、未就労世帯が約50世帯増加しており、その他の世帯でも収入が減少傾向にあることから増額するもの。

■委員 がん検診の受診者減少の分析について。

□当局 コロナ禍により胃がん検診は中止し、改めて令和3年2月から6月まで検診を行う。肺がん検診は終了しているが、受診率が15・1%から9・7%に大きく減少しており、受診控

えがあったと考えている。

■委員 財政調整基金積立金の増額理由について。

□当局 これまでコロナ対策のため基金を約19億8千万円取り崩し対応してきた。今回の補正では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金約10億円が交付され、歳入が約8億円上回ることから、今後の不測の事態に備え予備費を増額した上で7億円を基金に積み立てるもの。

◆全会 一致で可決

議案第7号
市常勤の特別職の職員の給与に関する条例及び市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

(提案理由) 一般職の職員の期末手当の支給割合の改定等及び諸般の事情を考慮し、市議会と協議の結果、

常勤の特別職の職員及び市議会の議員の期末手当の支給割合を改定するとともに、同手当の支給割合及び加算割合並びに給与及び報酬の減額の特例を設けようとするもの。

◆全会 一致で可決

環境経済

火災予防条例の一部改正



急速充電設備(千葉日産自動車(株)野田店)

議案第3号
火災予防条例の一部改正

(提案理由) 対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、急速充電設備の全出力の上限、位置、構造及び管理に関する基準並びに設置の届出に関する規定の整備等をしようとするもの。

■委員 充電設備の設置数と近隣市の比較について。

□当局 市内には、急速充電設備、普通充電設備が各10カ所。近隣市では、急速充電設備が、松戸市8カ所、柏市14カ所、流山市5カ所、我孫子市1カ所である。

◆全会 一致で可決

常任委員会ほか

文教福祉

介護保険特別会計の増額補正

議案第6号
令和2年度介護保険特別
会計補正予算(第2号)

(提案理由) 歳入歳出予算及び債務負担行為の補正であり、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ6千205万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ133億747万7千円にしようとするもの。

■委員 配食サービス事業の減額理由について。

□当局 業者選定を指名競争入札に改めたことにより費用が減少した。また、利用者の利便性向上のため事業者が料金を徴収し、委託料はそれを控除する扱いに変更したことから歳入歳出ともに減額するもの。

■委員 シルバーリハビリ体操の現状と今後について。

□当局 コロナ禍で感染防止対策を講じながらの運営は難しいため、休止している。今後は、シルバーリハビリ体操指導士の皆さんと相談をさせていただきながら、市主催の体験教室の再開などを検討していきたいと考えている。

◆全会 一致で可決

道路線の認定

建設

議案第4号
道路線の認定

(提案理由) 路線整理のため、認定しようとするもの。

■委員 桜の里二丁目地先と柳沢新田字稲荷前地先の路線の概略について。

□当局 いずれも開発行為によるもので、桜の里は延長13・1メートル、幅員4メートルの歩行者専用道路、柳沢は延長84・1メートル、幅員5メートルの道路である。

■委員 桜の里の歩行者専用道路は車両が通行できないよう整備されているか。

□当局 道路の出入口に車止めを設置し、車両が進入できないように整備されている。

◆全会 一致で可決



建設委員による現地視察

のだ市議会だよりのリニューアルに向けて

のだ市議会だよりの見直しを行うため、令和2年3月に竹内前議長の私的諮問機関として議会報リニューアルプロジェクトチームを設置しました。コロナ禍の影響によりスタートが大幅に遅れましたが、6回にわたり議論されました。

議論は、自由な雰囲気のもとメンバーそれぞれが調査した結果やアイデアを持ち寄り、意見を整理・集約する方法で進められました。

見直しの基本コンセプトは「わかりやすい表現、わかりやすい情報発信」です。議論の成果は、報告書としてまとめられ、10月8日に平井議長へ提出されました。

報告書の主な内容は、読みやすくするため文字を大きくし空間を取ること、案件の審議経過より市民生活への影響を分かりやすく伝えること、関心の高い事柄について特集を組むことなどです。

平井議長は、この報告書に基づき、市民と議会がより身近なものになるよう、



平井議長へ報告書を提出

のだ市議会だよりの編集を担当する広報委員会に見直しを要請しました。

古橋議員を委員長とする広報委員会では、報告書をまとめたプロジェクトチームとともに、3月定例会号から新しい紙面で市議会だよりをお届けできるよう鋭意検討を進めています。

なお、プロジェクトチームは、市議会ホームページの見直しについても行うことが決定されています。

プロジェクトチーム

リーダー 木名瀬宣人
サブリダー 滝本 恵一
メンバー 中村 裕介

長 勝則

濱田 勇次

谷口 早苗

椿 博文

質問順位は、議会の申し合わせにより決定しています。なお、紙面は要約してありますので、詳しくは2月下旬に発行予定の会議録または市議会ホームページをご覧ください。

一般質問

登壇者と通告項目

中村 裕介（政清会）

新しい子ども館の整備（進捗状況、減収に伴う計画への影響ほか）、行政手続上の押印廃止（市民に求めている押印の数、メリットと市の考え方）

古橋 敏夫（六諭会）

市農産物ブランド化推進事業（協議会における活動と成果、黒酢米の商標登録と販促デザインの内容、市外への販売促進ほか）

西村 福也（公明党）

改正社会福祉法、成年後見人制度（現状と課題、成年後見制度利用支援助成金の拡充）

小椋 直樹（民主連合）

指定避難所変更説明会での市民の反応等、まめバス停留所の安全対策、市役所における女性登用（女性管理職の割合に係る近隣市との比較ほか）

星野 幸治（日本共産党野田市議団）

新型コロナウイルス感染拡大防止策、関宿地区での資源物・小型家電の持込回収、市道の整備、子ども館の整備（事業規模、建設の開始時期）

小室 美枝子（市民ネットワーク）

都市計画道路の見直し、太陽光発電設備の適正な設置に係るガイドライン、（有）柏庭材処理センターに関する状況と改善命令に伴う課題

栗原 基起（新しい風）

新型コロナウイルス感染症対策等（各支援策の事業費と執行状況、新型コロナ対策協力寄附金の状況）、新型コロナの影響による来年度の予算編成

谷口 早苗（無所属の会）

市ホームページの戦略（市民・市外の方に向けた戦略、近隣市とのバナー広告における相違点や年間の利用企業数と広告料収入ほか）

池田 利秋（地域クラブ）

ひきこもり対策、県道我孫子関宿線の整備（木間ヶ瀬小学校と木間ヶ瀬中学校間の信号機設置、農協北側の安全対策）

木名瀬 宣人（政清会）

千葉柏道路（現状と今後）、連続立体交差事業及び関連事業（高架切替時期ほか）、愛宕駅の駅前美術館（詳細、来年度以降の予定）

染谷 信一（六諭会）

野田貝塚（現状、新しい子ども館予定地で見つかった竪穴式住居跡等の遺跡ほか）、ふるさと納税（件数及び金額の推移、返礼品の選定基準ほか）

内田 陽一（公明党）

コロナ禍の中での予算編成、保育士確保対策、市施設の窓口対応、障害者優先調達制度やグリーン購入制度、公用車（ドラレコ設置状況）

織田 真理（日本共産党野田市議団）

正規職員（フォロー体制、採用人数ほか）、会計年度任用職員（全職員の中での割合ほか）、コロナ禍における学生支援、災害時の停電対策

濱田 勇次（六諭会）

給食費の徴収（主体及び徴収率、未納者に対する督促方法ほか）、自転車利用者の損害賠償保険、梅郷駅西土地区画整理事業の進捗状況

川崎 貴志（六諭会）

GIGAスクールの進捗状況と運用（新型コロナウイルス感染症などで休校等になった場合の運用、研究授業等のリモート会議の活用ほか）

竹内 美穂（六諭会）

シティプロモーション、スポーツ推進都市宣言、学校施設等の老朽化対策（長寿命化計画の策定、プロジェクトチームのメンバー及び役割ほか）

新しい子ども館の整備について

中村 裕介
議員

■質問 新型コロナウイルスの影響により、新しい子ども館の整備内容等に変更は生じるのか。また、市税の減収に伴う今後の整備計画への影響について伺う。

■答弁 工期について請負予定業者に確認したが、資機材の調達や人員配置に問題はなく、スケジュール変更はないことを確認している。なお、令和2年4月の緊急事態宣言発出の際には、公共工事の一時中止措置を取ることであったため、今後の感染状況により工期の

変更等は考えられる。

また、現在設計段階のため変更ではないが、内装の仕上げや人の手に触れるドアノブやスイッチ類、机や椅子等の備品を可能な限り抗菌仕様とし、空調についても、外気導入型のエアコンを設置するなど、新型コロナウイルス等の感染症の影響をできる限り受けられないよう検討していく。

減収に伴う今後の計画への影響については、3年度以降厳しい財政状況が続くと予想されるため、整備費

のコスト削減に努めていくが、子育て支援は未来への投資であり、子育てしやすい環境の整備は長い目で見れば市の発展につながるものと考えている。新しい子ども館については、市長と話そう集会の中でも早急に整備を期待する意見が多いことから、重要な事業として進めていく。

農産物ブランド化推進事業について

古橋 敏夫
議員

■質問 野田市農産物ブランド化推進協議会の活動や、黒酢米の他産地との差別化による競争力強化と農家所得向上の成果について伺う。

■答弁 野田市農産物ブランド化推進協議会の活動としては、平成22年度よりブランド認定を開始し、野田市ブランド農産物の認定マークにより差別化を図っている。特に黒酢米に関しては、協議会においてチラシやラベルシールを作成し、販売時に活用していただいている。

また、黒酢米の農協の買い上げ価格は、慣行栽培の米と比べ1俵当たり千円上乗せされている状況であり、農協以外の取引でも1俵当



ラベルシール(左)と認定マーク(右)

一般質問

重層的支援体制の整備について

西村 福也
議員

■質問 改正社会福祉法の施行に伴い、包括的支援や重層的支援体制整備事業についてどのように取り組む考えか伺う。

□答弁 包括的支援や重層的支援体制整備事業は、国が提唱する地域共生社会の実現に向けた取組の一環である。市では、令和2年3月に策定した野田市地域福祉計画（第3次改訂版）で、地域共生社会の実現に向けた体制づくりの推進を位置づけている。

また、国は3年4月の市

■質問 新型コロナウイルスの無症状の感染者を把握し保護するため、医療機関・介護・福祉施設、保育園・幼稚園、学校、学童保育などの施設において定期的な社会的検査（PCR検査）が必要と考えるが、市の考えを伺う。

□答弁 PCR検査は、検査したその時点の感染の有

町村における包括的な支援体制の構築に関する規定を加えた改正社会福祉法の施行に合わせ、重層的支援体制整備事業の枠組みとして、

「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援の内容を示し、一体的に実施するとしている。

しかし、これらの取組を効果的に機能させるための具体的な施策は示されていない。このため、現状では他機関との連携強化等に課題があると考えている。

無を確認するだけのものがある。結果判明後も引き続き3密を防ぐなどの感染対策が継続して求められていることから、陰性であることに安心し、かえって感

指定避難所の説明会 変更の指 指変更について

小椋 直樹
議員

■質問 市では、想定する最大規模の降雨に対応した洪水ハザードマップを作成し、風水害時の避難所の変更や避難行動などについての説明会を行っているが、市民の反応及び意見等に対する改善策について伺う。

□答弁 説明会では、今回の改定により浸水区域が広がり、浸水深も深くなつたことに對する不安の声や、堤防の強化や川の掘削などの河川整備に関する要望のほか、自宅近くにあった避難所が利用できず遠方になったことや、避難所の減少に伴い避難所の収容人数が減少したことなど、避難先に関する声も多く頂いた。

このたびの風水害時の指

を頂いている。市としても、PCR検査実施の効果が限定的であることから、定期的なPCR検査は必要ないと考えている。

ただし、最近の新規陽性者数の増加傾向を受け、県は国の要請に基づき、高齢者施設等で感染者が発生した場合には、当該施設の入所者及び従事者の全員に對

定避難所の指定解除等については、大きな負担と心配をおかけするが、浸水の危険のある避難所を開設することは大変危険であることから、今後は、安全な場所にある親戚宅や知人宅への避難、自家用車を利用した一時的な車中避難など、事前に自らの避難行動を確保する、自助としての分散避難が重要になってくる。

あわせて、河川整備に関して国に要望活動を行い、今後も引き続き、あらゆる機会を通じて丁寧な説明を続けたい。また、分散避難の推進のため、車中避難場所の駐車場及び民間宿泊施設等の活用により、さらなる避難先の確保に努めていく。

して原則として検査を実施することとしたが、市としては、高齢者施設等だけではなく、感染者が発生した学校や保育園等についても、濃厚接触者以外の職員や児童、入所者などの関係者にも、必要に応じて市が主体となってPCR検査を実施し、市民の皆様の不安解消に努めていく。

施設等に対する社会的 検査の実施について

星野 幸治
議員

対策を行うことが重要であり、定期的なPCR検査はあまり意味がないとの見解

一般質問

■質問 (有) 柏廃材処理センターが、既存の煙突頭頂部にキャップを取り付ける対策を講じた効果を検証するために、県が実施する調査の内容や時期について情報共有されているのか。また、立入り等の権限についてはどのようなになるのかを伺う。

□答弁 調査について県に

聞き取りをしたところ、令和2年11月下旬から3年3月にかけて、平成24年度以

のとのことであった。

調査の詳細は、まず焼却施設に係る排ガス測定とし

(有) 柏廃材処理センターの 環境調査等について

小室美枝子
議員

降に実施してきた調査の結果との比較及び解析を行い、その改善効果を評価するも

て、ばい煙測定により基準適合状況を確認する。また、排ガス量及び吐出速度等の

測定を行い、ダウンウォッシュ(※)の発生頻度を算出する。次にVOC(※)濃度の測定を実施し、現状及び組成を把握するもので、いずれの調査も年度内に結果が取りまとめられると聞いている。なお、調査結果については今後の苦情対応などのために市も把握しておく必要があることから、県

に調査結果の提供を依頼している。

また、今後についても市の権限は変わることなく、引き続きVOCモニターによる24時間の監視体制を継続するとともに、被害者の会から臭気などの苦情・相談が寄せられた際には、立入検査等を実施していきたいと考えている。

来年度予算の財政収支の 見通しについて

基起
栗原 議員

■質問 新型コロナウイルス対策費の増加に加え、令和3年度予算は、企業の収益悪化などから税収不足が深刻化すると見込まれるが、そのような状況下で来年度予算編成に向けた財政収支の見通しについて伺う。

付税及び臨時財政対策債については今年度の実績額により試算している。また、市税については、個人市民税及び法人市民税をリーマンショック時の下落率等により見込んでいる。したがって、今後国の地方財政対策や県の収入見込み等を参考に精査していくことで、収支差が大きく変わってくることになる。

□答弁 予算編成方針作成時の見込みでは、大幅な歳入不足となっているが、現状では国の地方財政対策等が示されていないことから、地方譲与税や各種交付金については現時点における今年度の決算見込額、普通交

いずれにしても、今回の予算編成においては、当初から収支差が大きくなることが避けられない状況であ

市ホームページの 戦略について

谷口 早苗
議員

つたため、各部署が自ら事業仕分けを行い、査定した必要経費や新たな財源確保策について、全体の収支が均衡するまで各部署の検討と副市長ヒアリングを繰り返し行っている。

現時点では依然歳入不足となっているため、引き続き全職員が知恵を出し合っ

■質問 市ホームページの情報配信において閲覧者増を図るための戦略、また、バナー広告の周知方法や、広告主にとってより価値のあるバナー広告にするための戦略について伺う。

□答弁 市民には、市政情報

報を的確に伝えることが第一と考えているが、さらに市の地域資源を再認識し、野田市民でよかったと思える情報発信を目指している。

また、市の魅力在市内外の方に効果的に情報発信すること、市への興味や関心が生まれ、市外在住の方が野田市に来てみたくなるようなホームページを構築していくとともに、SNS(※)で市の魅力ある情報を

積極的に発信して、そこからホームページに誘導する。なお、現在の市ホームページは必要な情報を探にくいこと、閲覧者の約8割がスマートフォンで見ていることから、リニューアルを予定している。

バナー広告の周知方法については、市ホームページのトップページ画面下部のバナー広告スペースに掲載申込みについての案内を掲載しており、今後も市から広告代理店に企業情報を提供するなど、新規広告掲載の開拓を進めていく。また、ホームページのアクセス数を増やすことで、広告掲載の有益性をアピールしていきたいと考えている。

※ダウンウォッシュ…吐出速度が遅い等の理由で排ガスが煙突の風下の気流により降下することで周辺の地表付近にとどまること。

※VOC…揮発性有機化合物。大気汚染の原因の一つ。

※SNS…ツイッターやフェイスブック等の情報発信ツール。

一般質問

ひきこもり対策

について

利秋議員
池田

■質問 ひきこもりを長期化させない早めの対応が求められているが、市内において把握しているひきこもりの人数及び市としての支援策について伺う。

□答弁 市では、ひきこもりの実態調査は行っていないが、パーソナルサポートセンターにおける自立相談支援事業の相談の中で、ひきこもり状態と考えられる人数は、令和2年11月末時点で97人となっている。支援対策としては、パーソナルサポートセンターが

相談業務を行っており、家庭で抱え込まないために、まず相談することを市報等で呼びかけている。

ひきこもりには様々な状況があるため、相談後は訪問や電話により、本人または家族への支援を行っている。その中で精神的な疾患が疑われる場合には保健所や医療機関へつなぎ、就労を目指す場合は新たに開始した農業体験を通じた自立支援訓練を行うなど、必要に応じた支援を実施している。また、ジョブカフェ

交通体立連続 事業関連について

木名瀬宣人
議員

のでは、セミナーや個別相談のほか、ハローワーク野田、市の無料職業紹介所と連携し求人情報などを提供している。

市としては、まずは相談していたことが大切と考えており、今後も国の状況を見定めながら、相談体制の周知と充実についても対応していく。

■質問 野田市駅前通りと県道野田牛久線との丁字路における信号機の設置の計画等について伺う。

□答弁 高架切替後に踏切が廃止されることで、車両の一時停止がなくなり、歩行者の道路横断を考えた場合、信号機の設置が重要であるとの認識から、令和元年度より、県知事等への信号機設置要望を実施してきている。

この結果、2年10月に県警察本部、野田警察署、県東葛飾土木事務所、市の4者による現地立会が実施され、信号機を設置する方向で、準備が進められている。また、信号機設置により、これまで、踏切付近にあつ



信号機設置予定箇所

た県道野田牛久線上の2カ所の横断歩道は、野田市駅前線通りとの丁字路交差点内の東側1カ所に集約されると聞いている。

なお、信号機設置時期については、3年3月末までに設置される予定であり、これにより駅利用者や通学路の安全確保が図られる。

■質問 野田貝塚をはじめ、地域の歴史を子供たちに伝えるため、新子ども館運営の中での方策について伺う。

□答弁 野田貝塚は、約6万平方メートルの広がりがあると推測されており、復元や分析などの整理作業を終えた出土品については、郷土愛の醸成を目的として小学6年生を対象に行う文

野田貝塚など地域の歴史を

教える方策について

信一議員
染谷

また、毎年、郷土博物館が行う企画展「野田に生きた人々 その生活と文化」

る豊かな心を育んでいきたいと考えている。さらに、埋蔵文化財は国

や地域の歴史及び文化を知る上で欠くことのできない国民共有の財産であり、地域における資産であるため、新子ども館用地で発掘された遺構や野田貝塚は、近隣の国重要文化財である旧花野井家住宅とともに、地域の歴史と文化を子供たちに伝える上での貴重な地域資源である。

新子ども館は指定管理者による運営を予定しているが、敷地や館内の一部における発掘された遺構等の資料の展示や、昔の人の暮らしを伝える火おこしイベントや縄づくりなど様々な方法での学芸員と連携したワークショップ(※)の開催など、今後効果的な方法を検討していく。

※ワークショップ…参加者が主体的に行う体験型講習。

一般質問

■質問 待機児童保留者の多くは保育士不足が原因となっているが、その解消に向けて、市ではどのような取組を行っているか伺う。

□答弁 合同就職説明会は平成28年度から実施しており、潜在保育士のための講習会との同時開催や説明会の開催回数を増やすなどの工夫をしている。昨年度は

2回開催し、参加者は延べ63人で13人の就業につながり、今年度は9月に開催し、

状況を踏まえ、来場するところが心配な方も説明を受けられるよう、オンライン説

保育士確保 対策について

内田 陽一
議員

参加者25人のうち4人の就業につながっている。
なお、今般のコロナ禍の

明会の開催を検討している。
待機児童保留者の多くは保育士不足が原因となつて

おり、他市でも野田市と同様に保育の受け皿整備は続いている。新たな保育施設が整備されれば、新たな保育士を確保する必要があり、相当に厳しい状況と認識している。これまでも、就労奨励金事業等の金銭的助成は、他市に無いものを取り入れるなど工夫をしているが、やはり競合となり厳しい状況である。

今後は、市の魅力発信の一つとして、市の保育の良いたところを増やし、素晴らしい環境を保育士の方々に伝えていくことが、保育士確保に向けた有効な方法の一つであると考えている。「野田市保育士待遇良し」をキャッチフレーズに、さらに力を入れていく。

コロナ禍における 学生支援は

織田 真理
議員

■質問 コロナ禍で経済的困窮に追い込まれた学生に対し、貸付け等を拡充すべきと考えるが市の見解を伺う。

変後の所得見込額で所得基準を判定する措置や、緊急特別無利子貸与型奨学金の創設に加え、アルバイト収入が大幅に減少した学生等に対する学生支援緊急給付金が支給されるなど、国において緊急対策が講じられている。

□答弁 令和2年4月から国の高等教育修学援助新制度により、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯を対象に、授業料及び入学金の免除や減額に加え、返還を要しない給付型奨学金の大幅拡充などの支援が開始されている。

文部科学省が10月に公表した調査結果では、今年度の大学中退率は昨年と比べほぼ横ばいとなっており、新型コロナウイルス拡大の影響は見られず、授業料の徴収猶予のほか、国の大学

梅郷駅西土地 区画整理は 進捗は

濱田 勇次
議員

等における遠隔授業活用促進事業補助金を活用したWi-Fiルーター等の無償貸与の支援を行うなど、退学防止や学びの支援のための様々な取組がされている。

市は、育英資金の貸与を無利子で実施しているが、高等教育の負担軽減は原則国で進めるべきと考えており、制度拡充の予定はない。

■質問 梅郷駅西土地区画整理事業は既に26年が経過し、南側の玄関として機能的で住みやすい駅前整備を願うが、現在の状況と今後の予定について伺う。

□答弁 現在、施行区域全において仮換地を指定し、換地計画に基づき整備が完了した画地から使用収益を開始しており、全体の97・3%が使用可能となっている。10月には権利者1名と補償の契約を締結し、地権者の協力により、工作物の撤去が進んでいることから、区画道路5号線の整備に着手したところである。

一方、移転及び除却が必要な地権者に対しては、合意の見込みが立っていない

ことから、様々な手法を検討し、区画整理の完了を目指していく。

当該地区は、梅郷駅の西口に面し交通の便が良く、利便性も高いことから、用途地域の制限内で資産価値に見合う土地利用を図っていただけのように、皆様に促していく。



梅郷駅西口駅前広場

一般質問ほか

インターネットで 本会議の生中継・録画放映が ご覧になれます

インターネットに接続することにより、ご自宅でも本会議の模様をご覧になることができます。



スマートフォンやパソコンで のだ市議会だよりがご覧になれます

無料アプリ「カタログポケット (Catalog Pocket)」を使って、のだ市議会だよりが、スマートフォンやタブレット、パソコンでご覧いただくことができますようになりました。

注：アプリのダウンロードは無料ですが、情報の受信には通信料が発生しますので、ご注意ください。アプリをインストールしなくても、ウェブサイトで閲覧は可能です。



請願・陳情をされる方へ

3月定例会の請願・陳情の提出期限は3月1日(月)です。提出に際しては、事前に議会事務局にお問い合わせください。

【問合せ先】
04-7125-1111 (内線 3314)



GIGAスクールの 進捗と運用計画は

川崎 貴志
議員

■質問 GIGAスクール

構想(※)に向けた市内小学校の高速Wi-Fiの工事や、機材導入の進捗状況と、運用の計画について伺う。

□答弁 現在、回線の大容量化、無線アクセスポイントの増設等を行っており、教育専用の光インターネット回線は1校に1回線新設する予定である。これらは、令和3年1月下旬までに全校で工事完了の見込みである。さらに、タブレット型PC端末は、児童生徒数の3分の2を2月下旬までに

各校へ整備し、残り3分の1は、3年度に整備完了できるように進めている。

今回の整備に合わせ、全児童生徒と教職員に1人1アカウントを付与することで、1人1台の整備が完了するまでの間であっても、家庭で保有するPC端末で学校と同様に使用することができる。今後、利活用が日常化すれば学校と家庭での学習の連携に加えて、不登校の児童生徒に対する個別に役立つと考えている。



整備予定のタブレット型PC端末

スポーツ 推進都市宣言 の考えは

竹内 美穂
議員

■質問 コロナ禍はもとより、長寿社会を迎える今日だからこそ、明るく豊かな時を過ごすための都市宣言は市民の元気を取り戻すきっかけになるのではと考えるが当局の見解を伺う。

□答弁 新型コロナウイルスの終息が見えない中ではあるが、スポーツ推進都市宣言をすることにより、子供たちにはこれまでと同様に夢や目標、希望を持つてスポーツや文化活動に取り組んでももらいたい。また、健康維持やストレス解消を目的にスポーツに取り組んできた市民の方々には、なお一層、健康増進への機運を高める効果があると考え

んでこれなかった方々にも、この宣言をきっかけに運動習慣の習得、肥満予防や食生活の改善、ストレス解消等に取り組んでいただけたと考えている。

コロナ禍の中、スポーツ活動だけでなく、音楽活動や芸能活動、子供たちの吹奏楽やマーチングなどの文化活動でも活動が制限されている。そのため、全ての市民が日常の社会生活の中でも前向きな気持ちになるような宣言にしたいと考えており、今後、都市宣言の実施時期をはじめ、名称や文言、発表の方法等について多くの方々の意見を聞きながら令和3年度中には実施していきたい。

※GIGAスクール構想…児童生徒に1人1台のPC端末と高速ネットワーク環境などを整備する計画。

議案等の審議結果

議案番号	件 名	審 議 結 果
議案第 1 号	コミュニティバス等対策審議会条例の制定	可 決・全会一致
議案第 2 号	国民健康保険条例等の一部改正	可 決・全会一致
議案第 3 号	火災予防条例の一部改正	可 決・全会一致
議案第 4 号	道路線の認定	可 決・全会一致
議案第 5 号	令和2年度一般会計補正予算（第7号）	可 決・全会一致
議案第 6 号	令和2年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決・全会一致
議案第 7 号	市常勤の特別職の職員の給与に関する条例及び市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可 決・全会一致
議案第 8 号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	可 決・賛成多数
議案第 9 号	令和2年度一般会計補正予算（第8号）	可 決・賛成多数
議案第10号	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決・賛成多数
議案第11号	令和2年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決・賛成多数
議案第12号	令和2年度次木親野井特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可 決・賛成多数
議案第13号	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可 決・賛成多数
議案第14号	令和2年度一般会計補正予算（第9号）	可 決・全会一致
請願第 4 号	全ての子どもたちに行き届いた教育を求める請願	不採択・賛成少数
陳情第 2 号	小中学校における少人数学級に向けた教育改革を求める意見書の提出を求める陳情	不採択・賛成少数
陳情第 3 号	核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める陳情	不採択・賛成少数
陳情第 4 号	携帯電話等中継基地局（5G基地局及びそれ以外も含む基地局）設置に関する条例制定についての陳情	不採択・賛成少数
発議第10号	日本学術会議が推薦した105名全員の任命を求める意見書	否 決・賛成少数
発議第11号	新たな就職氷河期に陥らせないようにさらなる雇用対策の強化を求める意見書	可 決・全会一致
諮問第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦（上野 佐知子氏）	同 意・全会一致
諮問第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦（有賀 ヒメ子氏）	同 意・全会一致
諮問第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦（五月女 真美氏）	同 意・全会一致

市議会ホームページには、審議結果のうち賛否が分かれたものについての議員別表決結果を掲載しております。

3月定例会のお知らせ

3月1日(月)に開会の予定です

日程は2月24日（水）に開催予定の議会運営委員会で正式に決定します。

日 程	開議予定時刻	会 議 予 定	主 な 会 議 内 容
3月 1 日(月)	午前10時	本会議（開会）	会期の決定、議案上程、市政一般報告
8 日(月)	午前10時	本会議	議案質疑、委員会付託
9 日(火)	午前10時	本会議	一般質問
10日(水)			
11日(木)			
12日(金)	未 定	常任委員会	議案等の審査
15日(月)			
16日(火)			
17日(水)	未 定	予算審査特別委員会	令和3年度各会計予算の審査
18日(木)			
23日(火)	午前10時	本会議（閉会）	委員長報告、質疑、討論、採決

定例会の日程は市議会ホームページでもご覧いただけます。 <https://www.city.noda.chiba.jp/gikai/index.html>